

清水俊行名誉教授追悼記念講演会
セルビア現代詩における無常の表象



©MILAN TUCOVIĆ "DEČAK I SVETLOST", 2000.

2026
10.19

月曜日

14:25-15:55

神戸市外国語大学

第2学舎2階 503教室

対象：本学学部生・大学院生、本学教職員、一般の方（予約不要・参加無料）



講師：山崎佳代子（詩人・翻訳家）

1956年生まれ、静岡市出身。
北海道大学文学部卒業、1981年よりベオグラード在住。
元ベオグラード大学文学部教授。
翻訳書にダニロ・キシユ『死者の百科事典』（1999年）
など。詩集に『黙然をりて』（2022年）など。エッセイ
集に『ベオグラード日誌』（2014年）、『パンと野いち
ご』（2018年）など。セルビア語での著作も多数。

【講演概要】

セルビア現代詩を代表するカラノヴィッチは、ロマン主義のコスティッチ、幻想的な
ディス、ウィリアム・ブレイクの詩想を養いとして、静謐な抒情詩を織り上げた。
本講演では、ヴォイスラヴ・カラノヴィッチ翻訳詩集『光の記』（2026年）を読み解
き、明滅する世界の表象をとりあげて、日本文学の中世の美意識との接点を探る。

お問い合わせ：神戸市外国語大学研究所グループ（kouen@office.kobe-cufs.ac.jp）